

介護度	事業対象者	要支援 1	要支援 2		
利用数	1	1	4		
介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
利用数	17	8	3	1	0

○男女比（今月）

性別	男性	女性
利用数	7	28

○地域別利用者数

区分	通常営業実施区域	区域外	住宅型有料入居者
利用数	16	9	10

○概要

前回会議以降、大きく変更した点として、以下 2 点があります。

① 営業日について

月～土曜日営業を、土日及び祝日を除く月～金曜日に変更。（年末年始は休業）

② ご利用時間及び受け入れ人数について

半日利用枠を中止、全営業日を朝から夕方までとし、定員も全て 18 名とした。

この変更については、法人全体の人員配置等の理由から、止むを得ず実施することとなった。しかし、事前に説明並びに意向確認を行う中で、これに伴い利用を中止される方は限定的であった。ただ、在宅生活継続のため、また身体機能維持のため、本来であれば必要なサービスであった方も多く、大変申し訳なく感じると共に、いつの日かまたこうしたサービスの提供が再開出来ればと考えている。

上記内容とは別に、現在これまで半日の勤務を行ってきた看護師がサービス提供時間を通して勤務を行っている。膚状況等、細やかに把握し速やかに対応するように努めている。基本的なサービスに加え、皆様方からのご意見も参考に、喜んで頂ける介護サービスの提供に努めていきたいと考えている。

② 意見交換

ご利用者

様々な運動やレクリエーションを提供してくれているが、みんなが一緒ではなく、身体状況や年代に合わせたプログラムがあるといいと日頃より思っていた。元気なものはもう少し違った運動もできるのではないかとと思っている。卓球大会などもあるといい。

ご利用者

職員のチームワークがいい。利用者の意見が合わなくてもうまく職員が対応していて、なかなか真似できないと感じている。

ご家族

平成 30 年よりデイサービスを利用開始しており、週 2 回だった利用日も今では週 5 回にまで増え、毎日通うようになった。以前はデイサービスでの様子を母が帰って話してくれていたが、歳を重ね段々とそれもできなくなった。今は連絡帳に様子を書いてもらい、その内容を家族や在宅医、訪問看護師と共有している。様子に加え、食事や排せつ、全てがわかるようになっていて安心している。また、送迎時に看護師さんと直接やり取りでき、相談できるようになったのもよかった。

今日の桜餅づくりについては、様々なご利用者がいて、なかには手が起用に動かないような方もいたが、その方に合わせてうまく対応されていると感じた。

出雲市 高齢者福祉課

これまで他事業所の運営推進会議に何度か参加しているが、デイサービスの行事を実際に見て参加したのは初めてだった。これまで、報告の中で写真等によりご利用者の表情など見てきたが、実際に皆さんの言葉や会話など見聞きできたのは、より職員がご利用者にどう関わっているのか様子がわかり良かった。このような会議の在り方もいいと感じたので、他事業所の会議でも提案してみたいと思う。

次回も参加できるかはわからないが、機会があればまた参加させて頂きたい。

第三者委員

ご利用者と職員が一緒になって取り組む様子を見させていただいた。行事に声をかけてもらい一緒に参加でき、改めて地域で一緒に暮らしていくことが非常に大切だと感じた。

第三者委員

桜餅づくりの様子を見させていただいた。16名のご利用者皆さんが、何かしらの役割を持って参加していたのが印象に残っている。いい取り組みだったと思う。

行事開催の頻度はどれくらいなのか？

毎日行うことは難しいと思うが、ご利用者によっては参加できない方もいるのではないと思うが、どのようにしておられるのか？

→ご指摘の通り、一週間通して行事を開催することは難しいが、どの曜日の方でも年間の行事にはどこかで参加できるよう、年度初めに行事の振り分けを行っている。

事業所より

様が仰っておられた身体や年代に合わせたプログラムの提供について、実施したい思いは持っている。だが、実際のところ、介護業界全体の人員不足はゆうらいふも同じく切実な状況がある。これまでデイサービスは、地域の皆様のニーズに corres 応するべく夕食まで食べてから帰ることのできるイブニングデイ、機能訓練に特化したトレサポと事業を展開してきたが、双方とも現在は事業中止となっている。本当に求められているサービスが継続できないことを心苦しく思とともに、今後も当社が地域のためにできること、地域に根付き貢献できるデイサービスを目指し展開していきたい思いでいる。

以上